

# 大岡の風 9 月



令和 8 年 8 月 27 日  
横浜市立大岡小学校  
TEL (711) 0818  
FAX (713) 3563

## 主体性と探究 ― 大岡で大切にしていること ―

校長 後明 好美

長い夏休みが終わりました。7月末に発災した熊本での地震では、関係機関の懸命な努力がありつつも未だライフライン等の復旧が難しいところもあり、被災された方々が御苦労をされていると報道されています。一日も早い復興を心より願うばかりです。

子どもたちの元気な声が学校に再び響いてきました。学校は、子どもたちがいないとがらんとして実に寂しいもので、子どもたちが戻ってきてくれたことで、モノクロのようだった校舎がぱっと鮮やかに色づいたように感じます。

### 次の 10 年の教育の方向性は

次期学習指導要領改訂に関わる動きが激しくなっていることが、さまざま報道されています。国では早くも 2030 年からの学校教育の方向性が議論されており、そこでは「主体性」や「探究」、そして『好き』を育み 『得意』を伸ばす」等がキーワードに使われていることが報道内容からわかります。

大岡っ子の基（もと）に「自分たちの手で大岡小学校を創り上げていこう」とあるように、ここ大岡では、主体性を生かし伸長させていくために子どもたちの学校生活に彼らの考えや発想を取り入れ、自分たちの力で実行に移していくことを、かねてより大切にしています。また、毎年全国に向けて授業を公開している生活科、総合的な学習の時間（大岡の時間）を中心に、授業では子どもたちの探究的な学習過程を大切にしています。教育の方向性を見ても、大岡の教育活動で大切にしている考え方を、これからもより充実させていくことが大事だと考えます。

### ふとした瞬間から見えてくる 大岡っ子の「主体性」と「探究力」

夏休み前のある朝のことですが、昇降口に立って子どもたちを迎えていると、低学年の子が横にした紙袋をお盆のように大事そうに両てのひらに乗せて、笑顔で登校してきました。「楽しそうだね。何が入っているの？」と紙袋を指しながらその子に聞くと、「今日、大岡川に行くんです。だから着替えを持ってきました！」と、とてもうれしそうに話してくれました。生活科（大岡の時間）の大岡川探検を楽しみにしていること、そして川に入って服がぬれることまでも、わくわくと楽しみにしていることがわかりました。

別の日には、高学年の子が登校して、昇降口で出会った友達に向かって開口一番、「今日の大岡なんだけとさあ・・・。」と、総合的な学習の時間（大岡の時間）を話題にして、二人で熱心に話をしながら教室へと向かっていきました。高学年になると、楽しみだけでなく「自分たちが学ばねば次に進めない」ということを自覚し、意思をもって一人ひとりが学びを進めていることが、この子たちの姿から垣間見ることができたように思います。

昇降口で子どもたちを迎えているだけでも、大岡で大切にしていることが子どもの姿となって表れてきていることを実感します。他にも、「～したいのだけれど、校長先生はどうしたらよいと思いますか？」「こういう道具が必要なのですが、学校にはないですか？」等々、いろいろな子が私に意見を求めてきたり質問してきます。大岡の時間での学習が、子どもたちの学校生活の核となり、それぞれのクラスでのさまざまな活動が子どもたち主体で進められていること、そこが本校の強みだと感じます。

### 子どもも本気 教職員も本気

再開した学校生活は年度の後半に向かっており、10月にはスポーツフェスティバルがあります。「校長先生、大岡のスポフェスはすごいですよ。」「子どもの素敵な姿に校長先生も感動するはずですよ！」と、いろいろな職員から子どもたちの主体的で本気な様子を自慢され続けており、休み前の朝会では、全校に向けて各色スローガンとシンボルマークの発表もされました。職員間で熱い議論を重ねながら、子どもたちのよりよい姿を支えようと「職員たちが本気なこと」も、大岡のよさだと思っています。

残り少ない8月、そして9月もどうぞよろしくお願い申し上げます。